

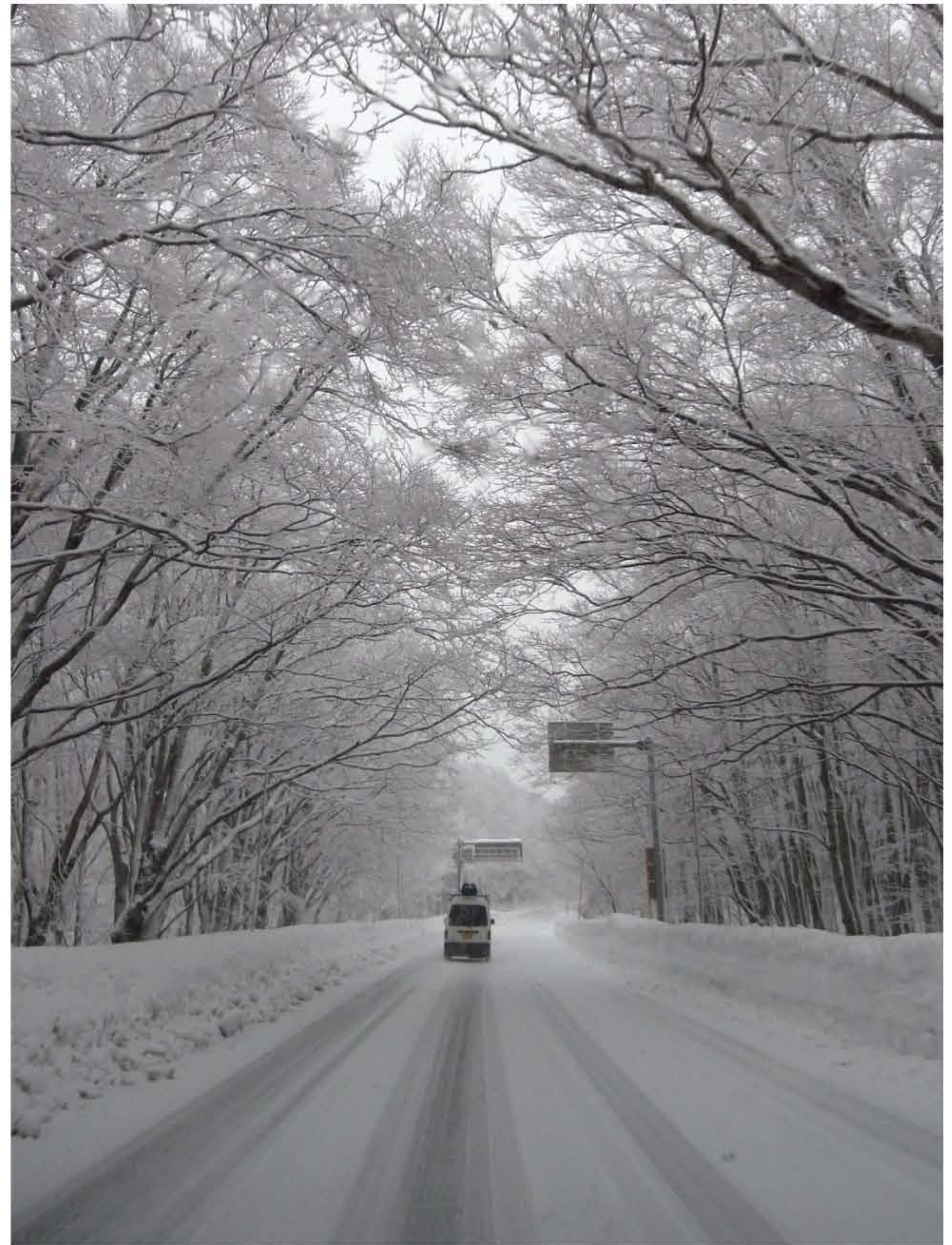


HAKKODA GUIDEBOOK

<http://okaken.asia>

八甲田山までの道のり

まず、青森までは飛行機、フェリー、高速バス、新幹線、自家用車など様々な交通手段が考えられる。青森に到着した後も、タクシーやバス、レンタカー様々な交通手段があり、八甲田周辺の宿にはロープウェーまで送迎バスのある宿もある。鞆ひとつで旅行に出かけてもなんら不便なことは無い。八甲田に自家用車でむかうには、青森、十和田、黒石の3つのルートがある。各ルートには、ゲートがあり厳冬期は夜から朝方までゲートが締められる。ゲートが閉まっている間に道は除雪されるが、四駆、スタッドレスタイヤは必要不可欠。



Rider/Sumito Watanabe
Photo/Hi-see

To AOMORI

JAL TEL0570-025-071
<http://www.jal.co.jp>

津軽海峡フェリー TEL017-766-4733
<http://www.tsugarukaikyo.co.jp>

弘南高速バス TEL017-726-7575
<http://konanbus.com>

JR新幹線 TEL050-2016-1600
<http://jreast.eki-net.com>

To HAKKODA

観光タクシー(青森空港) TEL017-739-2007
<http://www.aomori-airport.co.jp>

JRバス(みずうみ号) TEL017-723-1621
<http://www.jrbustohoku.co.jp>

トヨタレンタリース青森駅前営業所
TEL017-7340100
<http://rent.toyota.co.jp/top.asp>



北八甲田連峰の山々

前岳

八甲田ロープウェー

八甲田国際スキー場

田茂范岳
(たもやちだけ)

赤倉岳

井戸岳

大岳

雛岳

小岳

高田大岳

硫黄岳



八甲田山唯一のコースのひとつダイレクトコース



田茂范岳 1,324m (たもやちだけ)

ロープウェイの掛かる田茂范岳は、八甲田山で唯一コースのある山である。ダイレクトコース全長3.5km、フォレストコース全長5.0kmあり十分八甲田山を堪能出来る。コースにはポールしか立ってなく、吹雪のときはこのポールしか目印がない唯一の生命線。オフピステに簡単に入れるが、コース外は事故が起こっても自己責任になるので裏山に入る時にはガイドに入ることをお勧めする。

一日券はない。

八甲田山ロープウェイには一日券は存在しない。チケットは1回券、5回券1ヶ月券と1年券。回数券は無期限有効なので残ったチケットは次回まで保存をしておきたい。

山のオープン時間は9:00から夕方の15:40まで（11月中旬～2月の期間中）最終時間になると八甲田のパトロールがコースを見回って降りてくる。

ロープウェイチケット(大人)

ロープウェイ専用/リフト共通

1回券	1,800 / -
5回券	4,900 / -
1ヶ月パス	14,000 / 19,000
1年パス	43,500 / 60,000

赤倉岳 1,548m



井戸岳 1,550m



大岳 1,584m



赤倉岳 & 井戸岳

赤倉岳は温泉ルートがある、初心者から上級者までを満足させてくれる山。東西南北様々な斜面を持つ山であり、北八甲田連峰の中で最も急な斜面がある山でもある。井戸岳は赤倉岳とほぼ合体するような形で頂上には火口がある。春、井戸岳の裏側は滑りに行くルートのひとつになる。写真では分からないが、春の井戸岳裏側はオープンバーンが待っている。

大岳

厳冬期はなかなか行く事が少ない山であるが、春になると箒場帯ルート、睡蓮沼ルート猿倉温泉ルートと様々なルートへアクセスする時、途中で経由する山が大岳である。東側のオープンバーンは一度は滑ってみたい斜面。井戸岳より小さいが火山口もある。

前岳 1,324m



前岳

八甲田の冬期ガイドルートとしてよく使われる前岳には、銅像ルートがある。車を回しておかないと歩いて帰る事になるので、ガイドに入って行きたい山である。オープンバーンと沢があるこの山は、過去に雪崩事故があった山。雪山に詳しい人又はガイドと滑りたい。気持ち良さそうだからといってノリで滑らないように。大きな斜面には危険がつきものという事を忘れないで頂きたい。

高田大岳 1,552m



高田大岳

谷地温泉から登る、八甲田で一番登りがいのある山。厳冬期は頂上まで4時間を要する上級者むけの山。こちらも雪崩の心配がある山であるが、春雪になれば雪崩の心配が少ないので、一度は登って滑ってみたい斜面である。高田大岳を滑り終わった後の谷地温泉は格別に気持ちが良い。

八甲田山のガイドに聞く



ー八甲田はどんな場所ですか？

スキー場というよりは山。いわゆるスキーコースは2つ。コース設定の為の伐採などは最小限で、コース途中で歩かなくてはいけない場所もある。麓にあるリフトスキー場のコース以外は圧雪してません。

ーやっぱり初めて来た時はガイドに入った方が良いですか？

バックカントリーに向うのであれば、その方が無難。八甲田山が初めての人は特にそうだしバックカントリー初心者はその方が楽しめる。ガイドツアーに参加する事で、道具等の情報知識も得られる。

ーバックカントリーに入る道具を持っていません。

スノーシュー、ポール、バックパックは有料でレンタルしている。ビーコン(送信専用)は無料で貸出してる。いきなり道具を揃えるよりは、最初はレンタルして、自分に合ったモノを選ぶのがいいと思う。

ーどのくらい滑れば、八甲田を楽しめますか？

滑走技術に関しては中級以上が目安。バックカントリーでの滑走には経験が必要だけど、それには基本的な技術があつてこそ。ゲレンデでも山を想定して滑るなど、工夫すればそれもまた楽しい。そうして普段から滑走技術を磨いておけばいいと思う。

八甲田山ガイドクラブ隊長：相馬浩義

八甲田でガイドを始めて27年が経つベテランガイド。
八甲田山荘のオーナーもつとめる。

八甲田ガイドクラブ		ガイドツアー参加料	
017-728-1511 http://www.hakkoda-gc.com/		1日	¥4000
		半日	¥3000

八甲田山荘	通常	9,450円(税込)	1泊2食付き
	相部屋(スキーヤーズベッド)		
	※スキーシーズンのみの設定です		
		7,350円(税込)	1泊2食付き
	素泊まり	5,250円(税込)	食事無し
017-728-1512 http://www.hakkoda-sanso.com/			

八甲田山ガイドクラブの7日

厳冬期銅像・温泉ルート



朝、ガイドの申請。
8:30で当日締め切り。



銅像ルートへ出発。樹氷を
眺めながら約45分のハイク。



オープンバーンから滑り、
長いブナ林を抜け滑ります。



八甲田山荘でお昼。焼きたて
のパンは食べてみたい一品。



午後は温泉ルートへ。



こちらもオープンバーンから
始まります。そして1日が終了。

08:30



09:45



11:45



12:00



14:00



15:00



春変則箒場帯ルート



朝、ガイドの申請。
8:30で当日締め切り。



箒場帯ルートへ出発。
厳冬期とは違い長旅の始まり。



まずは大岳を滑ります。



お昼はガイドからキクラゲ
入りラーメンを頂きました。



小岳に登り滑ります。

この日の春雪は最高でした。休憩アリ。そして1日が終了。



八甲田山で必要なギア

01. ビーコン

雪崩に巻き込まれた仲間を探すと共に、自分が巻き込まれた時に必要なアイテム。ビーコンを持っているだけでは意味が無い。雪崩講習を受けて使い方を覚えておこう。



02. プローブ（ゾンデ）

雪崩で巻き込まれた仲間を探す時に必要なアイテム。使い方は他の物と合わせて覚えておきたい。



03. スコップ

ピットチェック及び雪崩がおこった時に必要なアイテム。ビーコン・プローブ・スコップは合わせてひとつのアイテムとして考えたい。



04. バックパック

必要なアイテム・飲み物・食べ物を入れるバックパックは板等を縛れる物を選びたい。



05. ストック

無くても山は登れるが、八甲田では登るだけでは無く、緩斜面を滑る時に必要になるアイテム。これが無いと山の中で歩いて山を下る事にもなるかも？



06. スノーシュー

広大な八甲田山を楽しむためには必要不可欠なギアになる。ロープウェー周辺であれば問題ないが、様々な八甲田の斜面を滑りたければ持っていて損はない。



07. インナー

汗をかいた後乾きにくいインナーにコットン素材はさけない。八甲田の寒さに対応するためフリース、インナーダウンは必須。



08. ウェア

インナーと同じくらい重要なのがウェア。過酷な八甲田山の気候に対応出来るウェアを選びたい。



09. ゴーグル

ゴーグルは替えを1つは持っておきたい。コケた後雪まみれになり、見えなくなったゴーグルで滑るのはツリーランではかなり厳しい。出来れば替えのレンズも持っておきたい。



10. グローブ

寒さに耐えられる素材、そしてスノーシュー、ポールの準備をグローブをしたまま出来るモノを選びたい。吹雪の中で素手の準備はかなり厳しい。



11. ブーツ

パウダーを滑るならブーツは固すぎないモノを選びたい。長時間滑る時、足に合わないブーツはさけない。

12. スノーボード

八甲田を滑るなら板にはこだわりたい。緩斜面の多く、豪雪地帯の八甲田山では絶対的な浮力のある板を選びたい。



新雪を滑る楽しみ

GENTEMSTICKで八甲田を滑る

text by Taro Tamai

八甲田は日本の山の中では個性派の部類に入ると思う。滑り手にとって北日本の宝のひとつ。そう高くはない標高、緩斜面、大量の降雪、湿度の高い雪が降り、低温にもなる。強い風はいつもの事で、ある意味過酷な環境だ。スキーゲレンデが殆ど無いところ。急斜面でないところで様々なレベルのバックカントリーライダー達に愛されている。

この山は性格上ロングボードがよく似合う。昔から180cmはある板を女性が抱えている姿は当たり前のように見られた。深く軽い雪と緩斜面故に大きく長い板が必要となるが、これが曲者でもある。緩斜面のタイトな林間コースでは、この長いボードが自由を奪って、大怪我のもとになっていた。当時、長く大きい板はそのまま体格の大きいライダー向けにデザインされていたし、キャンバーがしっかりと入って取り回しがとても大変な代物であった。男性でも大変な物を女性が四苦八苦している姿を見て何年か先にリリースを予定していたボードを先に出す事にしたものだ。

初めて持ち込んだspeedmasterは長さが172cm。この山のローカル達に短いと笑われた事もあった。しかしspeedmasterはこれまでの概念と違うデザインが施されてある。短いと毛嫌いしなかったガイドの相馬さんは聞くところによると、試乗用に置いていったボードを自分用にしていた(笑)らしい。その後私たちがリリースしていく板の中で、緩斜面でも板面積を広くしないで、強い浮きを実現するデザインを考えていく時に、頭にあるのがここ八甲田の山々であった。緩斜面というとネガティブな印象を持つ人がいるけれど、急斜面はブレーキのテクニック、緩斜面は走らせるテクニックと、違う個性であるのだ。日本の繊細な自然地形にはそれに見合うテクニックがある。これはターンの美しさにも表れる。それを生かす板のデザインもまた、独特のアイデアを生み出す。

青森県は本州の北の外れに位置し海も山もとても美しい。青森は置き去りにされて発展しないままだと地元の人に言われた事があった。でもそれは短いスパンで物事を捉えた発想だと思う。高度経済成長、バブル時期に乱開発された場所はもう取り返しのつかない悲惨な状況を抱えてしまっている。狙っていたのか、結果的にそうなったのかは別として、今ある「手つかず」が大きな財産になって子供達に還って来るはずだから。



城ヶ倉温泉

八甲田の源泉より湧き出る良質の天然温泉。男・女の露天風呂は、四季折々の大自然を一望しながら入浴ができます。

日帰り入浴 11:30~16:00
(受付15:00)

休館日 不定期
料金 (大人) ¥1000
TEL 017-738-0658

<http://www.jogakura.com>



八甲田山周辺の温泉

八甲田山系のブナ原生林に抱かれ静寂に佇む
北欧風リゾートホテル。



HOTEL JOGAKURAの夕食は、地元の旬を活かした会席料理。
朝食は八甲田山系の湧水で育った天寿米の蒸籠ご飯、地元農家の朝採れ野菜や斗南養鶏の新鮮な卵を使った卵料理など、青森県産にこだわった新鮮素材の「元気が出る朝食」が愉しめます。
上質な温泉、居心地のよい北欧風の客室、寝心地のよいベッドと快適な旅に欠かせない要素が揃っています。
アクティブに、またのんびりと、大自然の中のリゾートホテルでとびきりの休日をお過ごしください。

HOTEL Jogakura

宿泊料金: 2名1室 14600円~(夕朝食付き)



みちのく深沢温泉

日帰り入浴 7:00~20:00
休館日 無休
日帰り入浴料金 ¥400
TEL 017-738-1464



酸ヶ湯

日帰り入浴(混浴) 7:00~17:30
女性専用時間 8:00~9:00
日帰り入浴料金 ¥600
TEL 017-738-6400



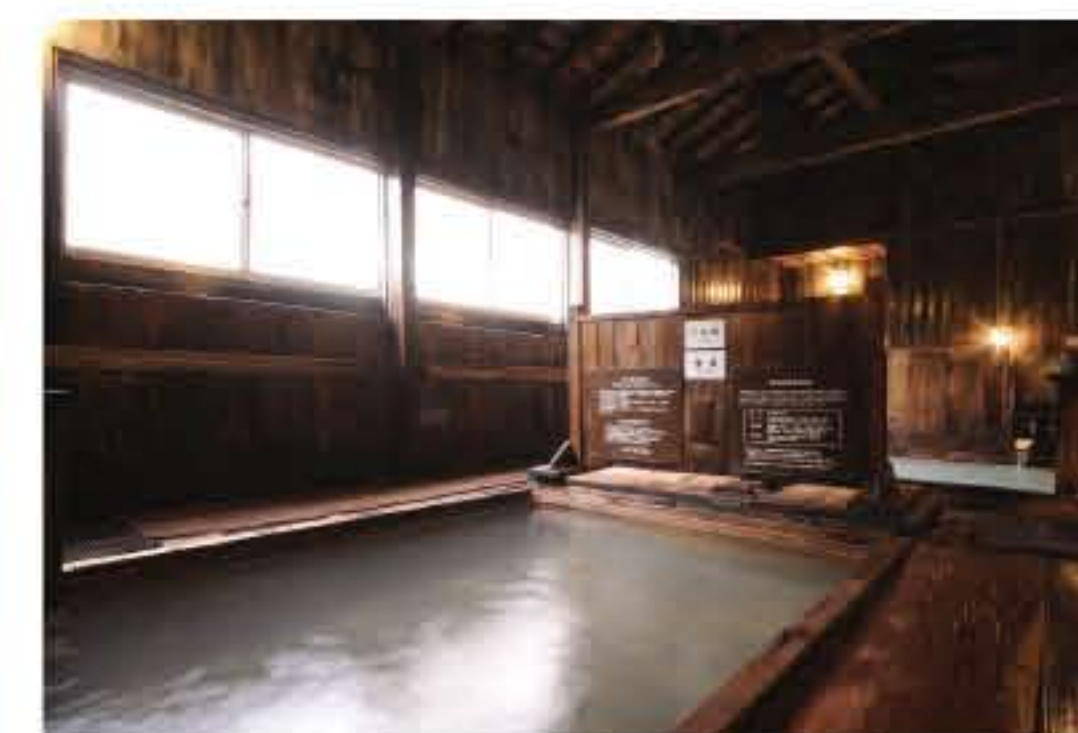
寒水沢温泉

<http://www.hakkouda-resort.jp>
日帰り入浴 12:00~1600
日帰り入浴料金(大人) ¥500
TEL 017-738-2233



蔦温泉

<http://www.tsutaonsen.com>
日帰り入浴 9:00~1600
日帰り入浴料金(大人) ¥500
TEL 0176-74-2311



谷地温泉

冬季休業11月24日~翌年3月31日
日帰り入浴 9:00~1800
日帰り入浴料金(大人) ¥500
TEL 0176-74-1181

黒石市で泊まる



自家用車で関東から東北自動車道で八甲田に向かう時東北IC黒石で降りた町が黒石市です。人口36000人の町に70軒以上のやきそば取扱店があります。青森県のご当地やきそば、黒石つゆやきそばのある町です。おいしい、たのしい、あやしい北国の食文化に触れてみませんか？是非八甲田山お越しの際にはやきそばのまち黒石に立ち寄って黒石つゆやきそばで青森を楽しんでください。

やきそばのまち 黒石会 会長 渡辺一央



黒石
つゆやきそば

<http://www.kuroishiyakisoba.com>



八甲田スキー&スノーボード宿泊パック

期間 12月～5月

4つの温泉地・17軒の旅館・民宿からセレクト

1泊2食付 最安値7,000円～

※宿泊施設・日程により料金は異なります。

お問い合わせ

小嵐山・黒石温泉郷活性化協議会

青森県黒石市袋富山65-1

(津軽伝承工芸館内)

TEL 0172-59-5300



黒石温泉郷

雪上車乗車体験(1月～3月)の10:00～15:00津軽伝承工芸館・特設
コース1周約5分一人500円[前日までに要予約]

食バ物

自然の恵みからB級グルメまで
青森の食を楽しむ。

青森と言えばまず海産物ではないだろうか？
鮪やホタテなどは青森の特産物。その他にも五戸の
馬刺や、リンゴ・山菜と、海から山まで自然の恵みを
堪能したい。

更に青森市はラーメン激戦区。様々なラーメンのスタ
イルが訪れる者を飽きさせない。そして県内にはB級
グルメも沢山そろっている。黒石つゆやきそばに八戸
煎餅汁、十和田バラ焼きなど。青森は食材、特産物の
宝庫だ。



(上)青森の特産物ホタテとマグロ
(左)五戸の馬刺(中)青森市のラーメン(右)十和田バラ焼き

八甲田リゾート&スパ <http://www.hakkouda-resort.jp>
TEL 017-738-2233

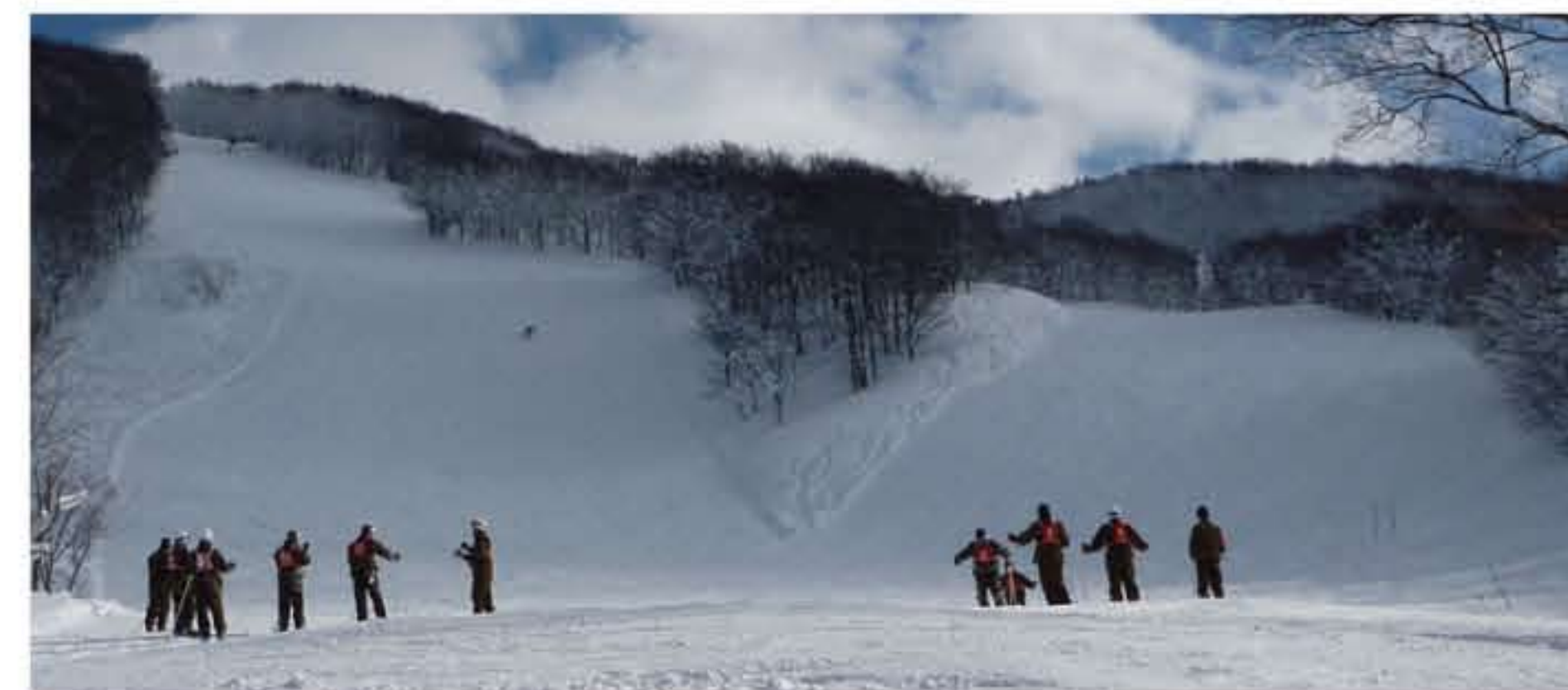
八甲田国際スキー場ゲレンデすぐ横
八甲田ロープウェーまで徒歩2分
天然温泉が味わえる ナトリウムー炭酸水素塩泉
連泊プラン → 8,500円～
リフト券付プラン(予定)
ガイド付きプラン(予定)
※八甲田山スキースクールのガイドとなります。

八甲田国際スキー場 <http://www.hakkouda-p.com>
(八甲田パーク) 11月下旬～5月上旬
TEL 017-738-8591

八甲田で唯一、圧雪整備されたスキー場。
ハイシーズンにはゲレンデパウダーも堪能できます。
営業期間も12月上旬～5月GW迄と長期営業してます。
※積雪状況により期間が変更します。
1日券:3,500円～

八甲田山スキースクール 12月中旬～5月上旬
TEL 017-738-8589(冬期)

スキースクール&BCガイド八甲田で唯一のSAJ公認校。
ゲレンデレッスンもありますが、魅力はBCやパウダースキーを
勉強する為のマウンテンスクールも完備している所。
BC初心者の方もまずはマウンテンスクールで基礎知識を
身につける事により、安心してBCを楽しむことができます。
会員に入会する事により、その日の天候でBCガイドに入ったり
レッスンを受けたりすることができます。
レッスン1日:4,200円～ ガイド1日:5,000円～



八甲田ロープウェイ

 GENTEMSTICK

八甲田山
ガイドクラブ
Mt Hakkoda Guide Club



SLOPE PLANNING

HOTEL
Jogakura
HAKKODA RESORT

津軽伝承工芸館
七福神大のりば



Cover / Hayato Maruyama
This Page / Ryoma Hosaka
Photo: Hi-see